

編集後記：5月に開催された社員総会において新定款に基づいて理事が選任され、新しく第38期理事会体制が発足しました。これによって日本気象学会は名実ともに公益社団法人としての第一歩を踏み出したこととなります。新制度では、個人会員全てが法人の社員として位置づけられていることから、会員は総会に参加することが求められています。しかし、今回の総会出席者は70名程度で、多くの会員は総会参加票による参加にとどまっているのが現状です。本誌8月号（前月号）「学会だより」欄に総会議事録が掲載されていることから、会員の皆様は是非この議事録をお読みいただき、学会の現状等について最新の情報を入手いただきたいと思います。さらに、新理事長の就任挨拶や新理事会・委員会等の名簿も掲載されていますので、併せて目を通していただくようお願いします。

このように本誌「学会だより」欄には、多くの学会活動に関する情報が掲載されています。毎月開催される理事会の議事録も開催2ヶ月後の号に掲載されています。これらの議事録によって学会の動きや理事会の考え方等について知っていただくとともに、ご意見を積極的に理事会までお寄せいただくようお願いします。

「学会だより」にはこの他、評議員会や新法人移行

に伴い新たに設置された支部長会議の議事概要も掲載されています。支部長会議では、気象学会が抱える様々な問題や新たに取り組むべき活動等について、支部長と理事会が多岐にわたって本音ベースで議論を行っており、会員の皆様には大変参考になると思われ

ます。また、第36期、第37期の評議員会では「現代社会における学会の役割と今後への展望」というテーマで多岐にわたる話題について活発な議論が行われており、評議員や名誉会員から貴重な意見が述べられています。公益法人としての学会の社会的役割を考える上で非常に参考になりますので、是非一読されることをお願いします。ちなみに、上記各会合の議事概要は以下の「天気」各号に掲載されています。

第37期第1回支部長会議：「天気」2013年10月号

第37期第2回支部長会議：「天気」2014年7月号

第36期評議員会：「天気」2012年6月号

第37期第1回評議員会：「天気」2013年11月号

第37期第2回評議員会：「天気」2014年7月号

このように、「学会だより」欄は、理事会等と会員の皆様をつなぐ強力な絆であることから、是非、お読みいただくようお願いします。（藤谷徳之助）